

通学路危険箇所対策プログラム

～R 3 年度通学路緊急点検による危険箇所への取組方針～



令和4年3月

宮城県土木部道路課

1. 策定の背景・目的

令和3年6月、千葉県八街市で下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷する事故が発生した。文部科学省、国土交通省、警察庁では、通学路における交通安全をより一層確保する取り組みとして合同点検を実施するよう都道府県に通知した。

宮城県では、8月から12月にかけて、教育委員会・学校、警察、道路管理者等の関係機関が連携し、小学校の通学路における合同点検を行った。点検により抽出された対策必要箇所（1,600箇所）について、各関係機関が対策を講じているところである。

このたび、計画的な実施を目指し、県管理道路における対策必要箇所の交通安全対策を「**通学路危険箇所対策プログラム**」として策定するものである。

2. 緊急合同点検について

(1)STEP1 各小学校による危険箇所の抽出

各小学校が児童、保護者、見守り活動者、自治会等から得られた情報を収集し、以下のような観点を踏まえ、危険箇所をリストアップ。

【抽出に当たっての観点】

- ・ 道路が狭い箇所
- ・ 見通しが悪い箇所
- ・ 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所
- ・ 大型車の進入が多い箇所 など

(2)STEP2 合同点検の実施・対策必要箇所の抽出

リストアップされた危険箇所について、教育委員会・学校、警察、道路管理者等の関係機関が合同点検を実施し、対策必要箇所を抽出。

(3)STEP3 対策必要箇所における対策案の検討

合同点検結果に基づき、抽出された対策必要箇所について、関係機関が対策メニューや実施時期等を検討。

(4)STEP4 対策の実施

教育委員会・学校、道路管理者、警察が対策必要箇所において計画的に対策を実施。

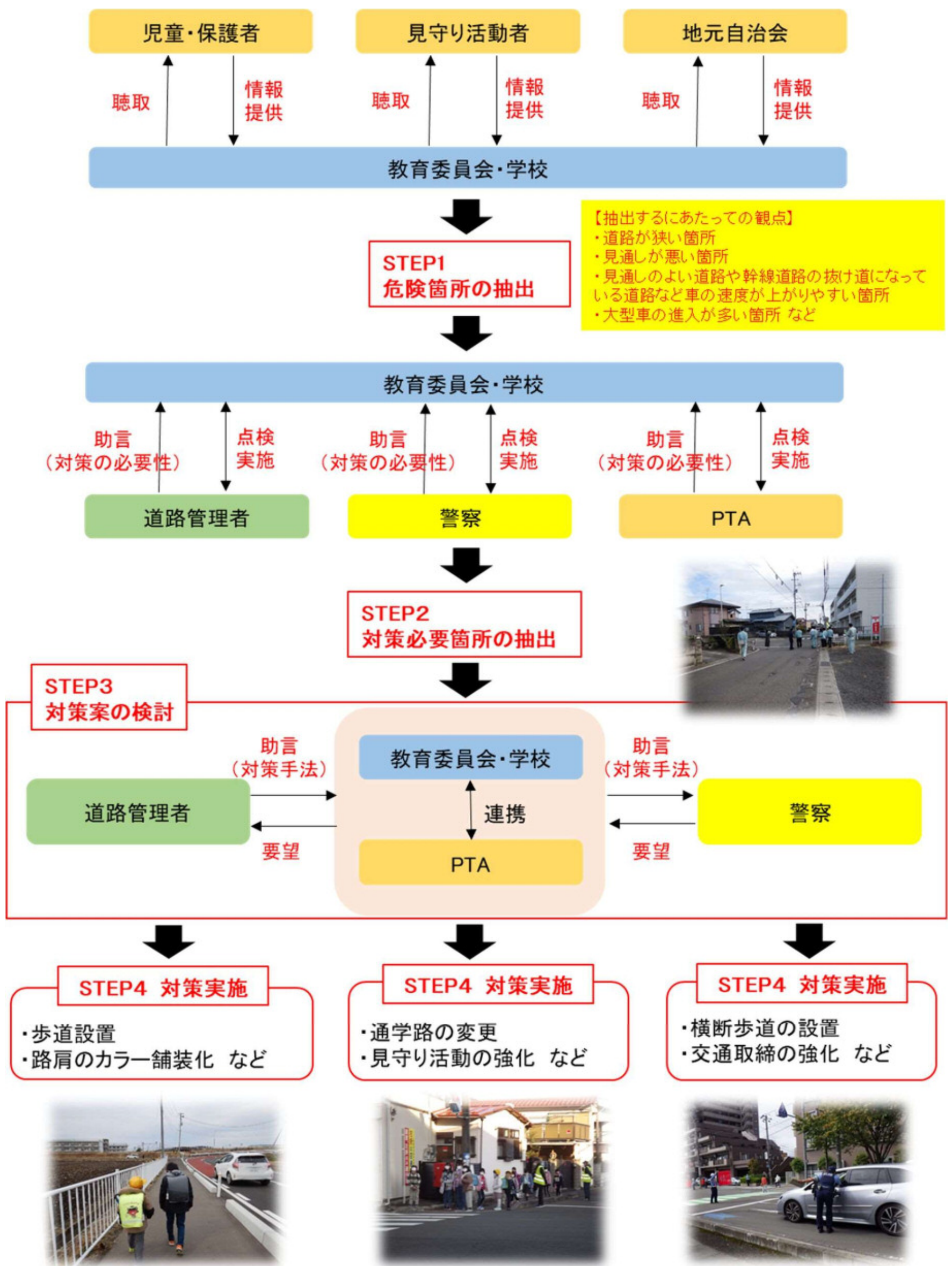


図1 緊急合同点検フロー

3. 緊急合同点検の結果について

(1) 各担当別の対策必要箇所数について

対策必要箇所数	各担当対策箇所数※		
	学校・教育委員会	道路管理者	警察
1,600	1,289	539	357

※各担当対策箇所数は、対策担当間で箇所の重複有り。

(2) 道路管理者別の対策必要箇所数について

対策必要箇所数 (道路管理者分)	道路管理者			
	直轄	宮城県	仙台市	市町村(仙台市除く)
539	22	124	131	262 (265)

※括弧内の数値は、管理者間での重複を含む数値。

(3) 県・市町村(仙台市除く)における対策メニューについて

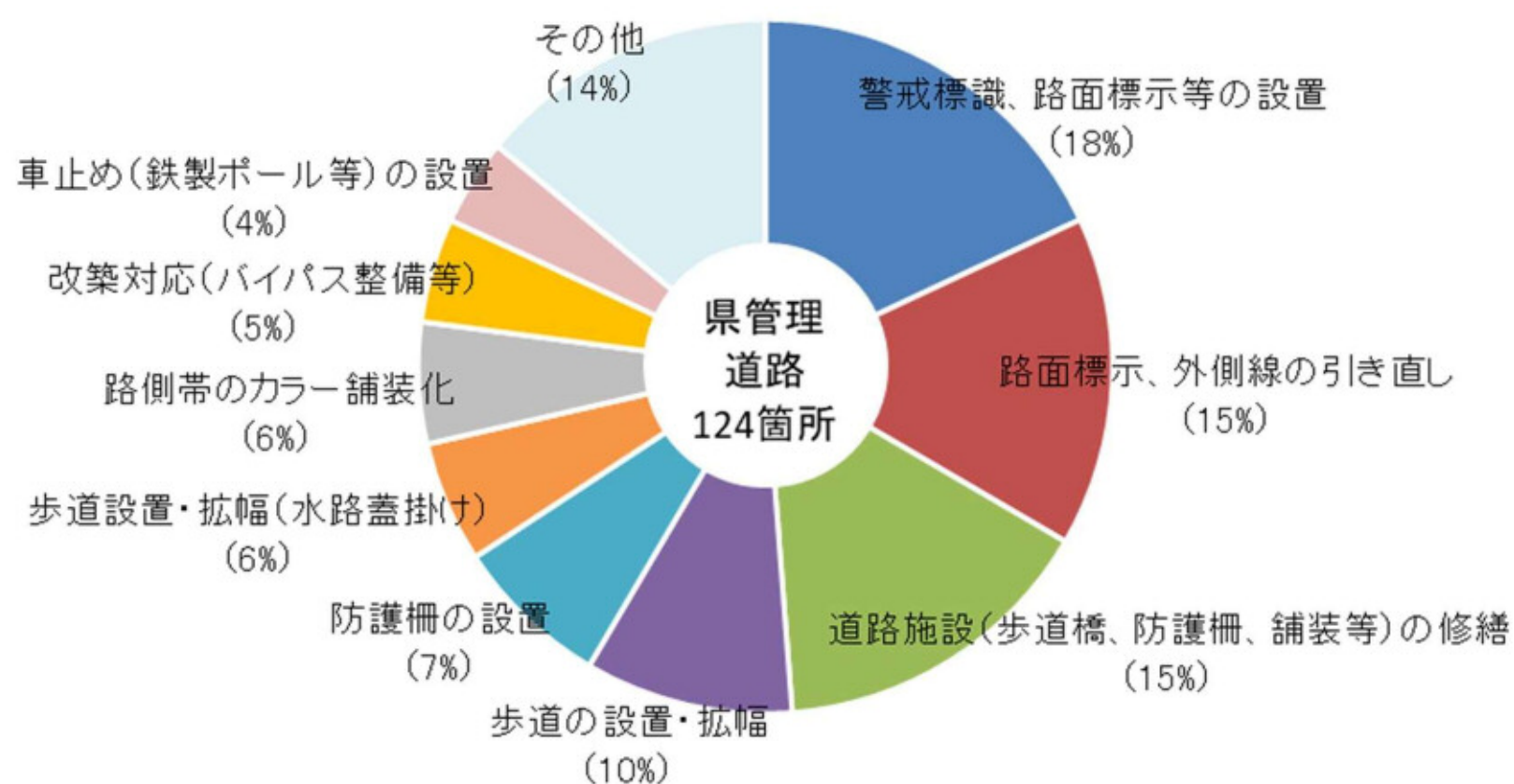


図2 県における対策メニュー

4. 道路管理者(県)における取組方針について

(1) 令和4年度以降対策残事業費

- ・ 県管理道路 約57.7億円

※図3で示す対策費用内訳のとおり、対策費用の9割以上を「歩道の設置・拡幅」と「改築対応(バイパス整備等)」が占めている状況。

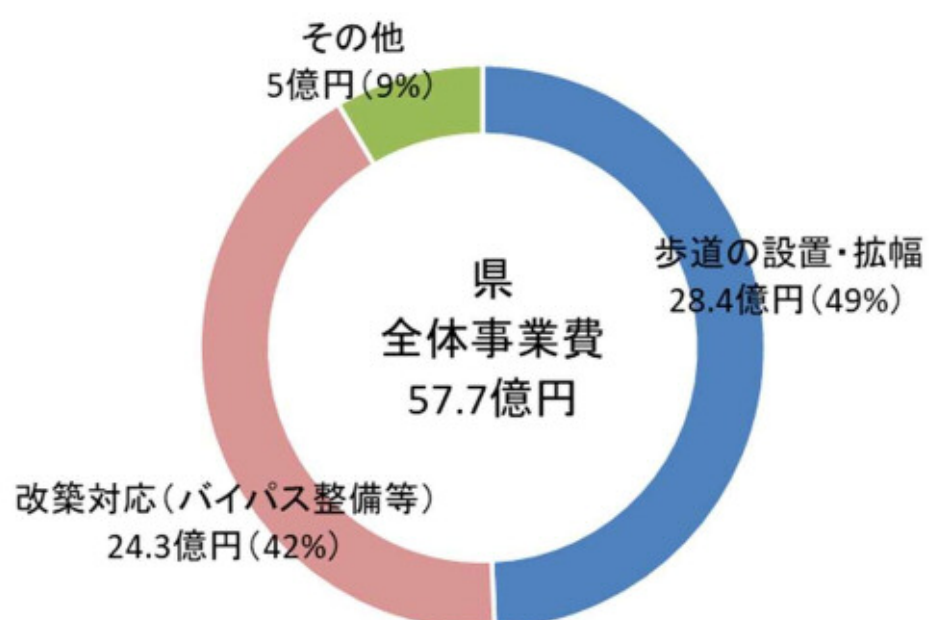


図3 対策費用の内訳

(2) 取組方針

- ・ 「歩道の設置・拡幅」と「改築対応(バイパス整備等)」を除く、警戒標識、路面標示等の設置や道路施設(防護柵等)の修繕などについては、令和6年度に完了予定。
- ・ 「歩道の設置・拡幅」と「改築対応(バイパス整備等)」については、交通安全事業補助制度を活用し、早期完了を目指す。

【別添資料】

- ・ (資料1) 市町村別対策必要箇所整理表
- ・ (資料2) 通学路危険箇所整備計画(宮城県実施)
- ・ (資料3) 通学路危険箇所整備計画(宮城県実施)位置図